

7. 本時について

(1) 本時目標 ろ過した液体は水か水溶液か調べる方法について話し合い、よりよい実験方法を考えることができる。

(2) 本時展開

学習活動	主な支援・留意点【評価】
1. 自分が考えた実験方法を、友達に伝えよう。(ペア交流) 2. 学級全体に伝えよう。(全体交流) くろ過した液体は 水か水溶液か調べよう> 水を蒸発させる ・日なたに置く ・アルコールランプで加熱する 顕微鏡で見る ・水とろ過した液体のちがいを見比べる 冷やす ・冷蔵庫に入れる ・もっと冷やしたい。氷で冷やす ミョウバン自体は蒸発しないか心配…大丈夫かなあ 重さを調べる さらにろ過する ミョウバンを新たに溶かす ・限界までとけているのなら、もうミョウバンは溶けないはず あたためてまた冷ます ・翌日まで待ったら、また結晶が出てくるのでは？ 温めたら多く溶けたもんね。温度が低くなると溶ける量も減るんだから、冷やすときっとミョウバンが出てくる！ 本当に結晶はできる？ 3. 次回、自分がやりたい実験を選ぼう。	○何のために伝え合うのかはっきりさせ、学習意欲を高める。 ○ペアで伝え合うことによって、一人一人が表現活動をする場を保证する。 ○実験方法ごとに分けて板書する。 ○どんな結果によってどんなことがわかるのか自分の考えを明確に説明するよう、指導する。 ○より分かりやすく伝えるために、画用紙に絵をかいたものを用いて発表する手立てをとる。 ○本当にそれで確かめることができるのか、必要であれば全体に問いかけていくようにする。 ◇自分の考えた方法を発表しようとしていたか。【関心意欲態度】 ◇よりよい実験方法を考えられたか。【思考表現】

○前時までに、児童は一人一人実験方法を考えてきており、本時では、その方法を伝え合う。中には、その方法では真理に迫れないものを持っている児童もいる。そのような考えに対して、否定し合って終わらないようにしたい。「これでは調べたいことが調べられないのでは。」「こうしたらどうだろうか。」と、お互いに建設的な意見を述べ合う一時間にする。よりよい実験方法を全体で話し合っていくことによって、実験方法についての自分の考えを再構築していく姿をひびき合う姿としたい。

○本時での話し合いは、事実にもとづいた意見は少なく、予想としての意見が多くなることが考えられる。話し合ってもどうしても解決しないときには、実験によって確かめる方法をとるよう促す。